

### 第3回 武蔵野商工会館地域情報コーナー在り方検討委員会会議録（要旨）

平成 19 年 8 月 20 日

於：武蔵野商工会館5階 第三会議室

#### 1 開 会

委員長：それでは、第3回地域情報コーナー在り方検討委員会を始めたいと思います。

#### 2 議 事

地域情報コーナーのあり方についての意見交換

- ・委員長： 前回の委員会で、この地域情報コーナーの在り方について、武蔵野市の「都市観光」というおおまかな方針が決まりましたので、その中でもう少し具体的に、どのような機能を持たせるか、またコンセプトをどうするかについて、意見を交換していきたいと思います。それでは、まず事務局の方から、登記所の在り方について、簡単にご説明いただけますでしょうか。
- ・事務局： 平成18年2月に東京法務局から境にある武蔵野出張所を正式に府中の方に統合するという事で、武蔵野出張所を廃止する旨の連絡がありました。その後、急遽武蔵野市で代替になるところを探しました。最初武蔵野市役所内を考慮して検討しましたが、武蔵野市民と三鷹市民の利用に供していたので武蔵野市役所内に設置することは三鷹市民の利便性に欠けるのではということになりまして候補から外れました。では、商工会館の市政センター内に置けないか、という意見が出ましたが、金融機関の窓口が入っており、必要なスペースを確保するには、あれ（金融機関）を退けるとなると、大掛かりな改修が必要であるということで、丁度1階にある燃料電池が撤去されたので、そのままそこに入って今に至るということです。現在、9時から4時半までやっていますが、印紙は上の商工会議所で買うということで、その不都合に対して多少苦情があったくらいで現在に至っております。それ以降東京法務局と武蔵野市との間に話し合いはないようですが、東京法務局の意向としては当初通り、府中に統廃合するというものでして、窓口の移設については特に話し合いもしていませんし、場合によっては廃止の方向を打ち出すかもしれません。向こうとは突き詰めた話し合いはしていないのが現状です。
- ・委員長： 積極的にここにいて欲しいという声もなければ、いなくなって欲しいという声もないということなののでしょうか。
- ・事務局： 地域情報コーナーの窓口には、若干イベント時に不都合だとか、お互い音が気になるとか、そういう苦情はありましたが、あの場所に登記所

があること自体についての苦情は届いていません。

- ・委員長： もし、今後あのスペースを地域情報コーナーの一角として考える時、本局の移動について障害はないと考えていいのでしょうか？
- ・事務局： 本局は廃止したいという意向でした。しかし、三鷹・武蔵野地区になくなっては困るということで、「自動交付機なら置いてもいいので場所を探してくれ」といわれ、たまたま燃料電池の場所が空いたので、そこに置いたという訳です。ですから、市の方から積極的に法務局に言っているのかどうか、言えば「それでは引き上げさせていただきます」、と言われかねないので、最終的に決まった段階で、「この場所はどうですか」というような方向でいった方がいいと思います。現段階では（法務局と）接触していないということです。まあ、吉祥寺周辺の方々は、あれば便利だろうと思います。
- ・副委員長： それはそうですね。全然違いますよ。
- ・事務局： ただ、今こちらから「この場所が不都合なので移動したい」と持ちかけると、「それでは当初の予定通り府中に統合しましょう」ということになりかねないので、移動するなら「この場所にしてくれ」というかたちにもっていった方がいいと思います。まあ、そういう状況です。
- ・副委員長： 今の報告ですと、この商工会館の中では、もう場所はないということでしょうか。
- ・事務局： 市政センターが第1候補であったのですが、そこ（市政センター）だと大規模改修が必要になってくる関係で、ではどこかあるかという時に燃料電池のスペースが空いたので、そこに置いた訳です。現状ではここ（燃料電池の空きスペース）以外に市の管轄で移転できる場所はありません。
- ・副委員長： 廊下はいいのですか？
- ・事務局： 建築基準法上は問題ないと思いますが、避難経路になっていると当然駄目ですね。
- ・委員長： ただ、この委員会でそこまで具体的にスペースの使い方を決められるかということ、恐らく無理でしょうから、今後使い方を決めていく中で、登記所の移転も視野に入れて、といった程度の提言でまとめられればいいと思います。

では、次に各委員の皆さんから、事前に提出していただいた地域情報コーナーの在り方についてのご意見を伺って、その後、全体で意見交換をしたいと思います。それではお願いします。

- ・委員： 私のは今まで話したものをまとめたようなものなのですが、まず、どういった所なのかのイメージがはっきり分かる愛称のほうがいろいろ

ということで、お手元の資料にもありますように、「イベントステージ & インフォメーション」という愛称にさせていただきました。

そして、現状の問題点として、利用促進のための企画・後援助成などがない、参加費が取れない、対象が不特定多数ながら人通りの少ない場所なので催し物の来街者向け広報支援がないなどがあげられます。そこでその改善策として、なくなってしまった運営委員会の復活、ただ、委員会のメンバーは利用を考えている方々を中心に構成し、文化交流の拠点にするような考え方も含めて、芸術文化交流協会を立ち上げたかどうかというのは前回お話をいたしました。運営委員には、小さいながらあるステージ、前面ガラス張りの窓、パソコンなどを活かして、地域発の文化の育成・発信を行い、集客と交流、利用法の提案に役立つイベントの開催、利用者独自の集客などの支援セミナーなどを行えば、現状の問題点が改善され、利用も活発になるのではないかと思います。その例として、吉祥寺アーティストコンテスト、アニメ・映像などの吉祥寺クリエイターズサロン、武蔵野語りのような武蔵野を伝える会、エコをテーマにしたイベント、そしてポスター等の作成・ブログ・ウェブ活用による映像発信等の広報支援セミナーなどを開催していくと良いのではないかと思います。また、協会はインターネットHPの製作とそこからの情報発信、公共施設での催し物の予定の掲示や配布などを行い、利用者の利便性の向上を図るといいのではないかと思います。

それから、人件費の問題ですが、現在の1名では足りないので、また、ずっと1人である訳にはいかないので、スタッフ休憩時の勤務、指導も含めて、スタッフを3名くらい置き、それは大体年間580万円で行えると考えています。また、運営委員は現状の400万円くらいでできるとして、それと、芸術・文化の振興のてこ入れということで、100万円くらい計上するといいかと思います。

パソコンの問題ですが、現在は不特定多数を対象にしていますが、現在テーブルに置いてある3台を入口付近に移動して市民や団体向けに利用できるようにする。また、テーブルは交流席としても利用する。他の2台をどうするかですが、まち情報のインターネットでの主体的利用ニーズは強いので、来街者向けの利用を維持するほうがいいと思います。ただ、あそこ（地域情報コーナー）に置くのがいいかという問題はありますが、単純に廃止していいのかということです。

登記所のスペースにつきましては、先程の話から無理かと思いますが、催し物での控え室、更衣室、一時保育など多目的に活用できたらいいなと思いました。

インフォメーション機能については、観光推進の窓口として活用するというのですが、観光といった時、市民の理解はまだ低いのが現状です。ですから、イベントステージでの文化交流などで観光推進も積極的にできるのではないかと思います。

- ・委員長： はい、どうもありがとうございました。それでは今の発表に対してこの場で何か質問があればお願いします。
- ・委員： 芸術文化交流協会というのは、それは芸文教とは別につくるのですか？
- ・委員： はい、別です。
- ・委員： このイベントステージですが、私は元々イベントができるスペースではないというイメージを持っているのですが、最大参加人数は何人くらいを想定しているのですか？
- ・委員： 50名くらいです。地域（武蔵野市）の人達の発表の場といったイメージが強いです。新人の育成ですね。市民発の。
- ・委員長： 他にございませんか。よろしいでしょうか。それでは次の方をお願いします。
- ・副委員長： はい、まず、コンセプトについては前回合意がなされた都市観光なのですが、ここ（地域情報コーナー）は認知度が低いので、敢えて都市観光の視点から「武蔵野市」を市民・来街者に発信する場と書いてみました。  
それから、愛称ですが、「武蔵野探訪館」というのはどうでしょうかと思いました。

運営主体については、これからできるであろう「武蔵野観光推進機構（仮）」に任せるのがいいのではないかと思います。ただ、以前むさしのみたか市民テレビ局の7周年記念式典の懇親会の時思ったのですが、このむさしのみたか市民テレビ局というのは、武蔵野三鷹ケーブルテレビの下部組織だと思うのですが、ちょっと独りよがりのところがありはしないか、というイメージがあったのですが、例えば、断片的なのですが、司会者がスピーチを短めをお願いしていたにもかかわらず長かったのも、その後の市長などが気をきかして短くしていました。まあ、そのホスピタリティがどうなのかと思ったのです。何を言いたいかといいますと、市民主体の組織を作るのは非常にいいと思うのですが、何かのかたちで行政も入った方が締まるのかな、という気がしました。

それから、経費なのですが、これはやはり民間資金の導入も考えるべきではないかと思います。行政の予算だけで動かすのはどうかと思います。

- ・委員長： はい、ありがとうございました。それでは、何かご質問はありますか？  
実は先程の市民テレビ局の話は、私も参加いたしまして、少し違う印象を受けたのですが、まず、市民テレビ局はケーブルテレビの下にある訳では

なくて、パートナーシップ協定を結んでおりまして、ケーブルテレビとは独立している団体です。他に何かご質問はありますか？よろしいでしょうか。それでは次の方をお願いします。

- ・委員： はい、私も前回話したことを紙に書いたものなのですが、まず、名称は「武蔵野市地域情報センター」がいいかなと思いました。愛称はまた後で考えてもいいかと。

目的は、武蔵野市型の都市観光の拠点として、武蔵野市の広い意味での観光情報を集中的に収集、分類、整理し武蔵野市内、並びに外部に対して発信するということです。

機能としては5つ考えまして、1つは武蔵野市観光推進機構（仮称）の事務局をここに置くということ。2つ目はやはり1番重要なのは情報収集と発信なので地図・パンフレットなどを一元的に管理した方がいいと思います。それとウェブサイトも必要でしょう。3つ目と4つ目は私の個人的なものが入っているのですが、コンシェルジュ・ガイド養成・管理機能が必要だろうということです。それとまち案内所の基地としての機能があればいいと思います。5つ目として、先程話にありましたイベントに関してイベントをするには少し狭いと思いますので、「ショップ」ですね、武蔵野の書籍とかパンフレットとかを置いて。それと、まちの人が自由に来られる「カフェ」みたいなものもいいのではないかと思います。

運営ですが、先程副委員長もおっしゃったように、武蔵野市観光推進機構（仮称）が市から委託を受けて運営するのがいいと思いました。

- ・委員長： はい、ありがとうございます。何かご質問はございますか？それでは、引き続き私の方から簡単に意見を述べさせていただきます。まず、コンセプトですが、3つ挙げられると思います。第1に「市民、来街者が共に楽しみ、交歓できるまち」、第2に「訪れる人々それぞれが価値・意義のある時間を創り、体験できるまち」、第3に「楽しさとくつろぎのなかに安全・安心が実感できるまち」の3つです。そして、地域情報コーナーを都市観光の拠点として再構築していく場合、第1と第2が特に重要です。つまり「住民は関心を持つが来街者は関心を持たない」情報や「来街者は関心を持つが住民は関心を持たない」情報では意味がありません。「住民と来街者双方が関心を持ち、楽しめるような情報」を収集・発信していく必要があるかと思います。これらのことを大前提として新しい地域情報コーナーの役割を考えますと、まちを訪れた人の目的に応じて必要な情報をアレンジし、提供する「案内機能」、まちに関する情報を整理・蓄積し、検索可能にする「データベース機能」、まちを訪れた人と、まちを訪れた人に情報を提供したい人とを結びつける「広場機能／伝言板機能」、まち

についての情報がある企画の下に整理し、発信する「展示機能」などが考えられると思います。

次に愛称ですが、公募がいいのではと思いますが、公募に応じてくれるコンセプトがないと難しいと思われます。

運営主体と体制なのですが、やはり、「武蔵野観光推進機構（仮称）」が最も有力であろうと思います。しかし、武蔵野観光推進機構（仮称）自体の公共的性格がどのように確保されるか、ということが重要になると思われます。そして、公共的性格が確保されれば、その自主的判断は最大限尊重されるべきと考えます。これは、行政がやたら足枷をはめると、現場を縛ってしまうことになりがちですので、運営主体の自主的判断は尊重していく必要があると思います。ただ、自由にやっていただく中で、運営についての情報開示を進めていくという運営体制を整えることが望ましいと考えています。予算等についてはあまり考えられなかったのですが、ムーブスを例に考えてみますと、赤字になった場合行政が補填するというのもありではないかと考えました。

以上4名の意見を発表させていただきましたが、今日意見を提出していない委員で、何か意見はありますか？

- ・委員： ちょっとよろしいでしょうか。私は今回書いて来なかったのですが、使い勝手としては、紙・ウェブ等での情報発信とイベントホール機能、この2つをうまく組み合わせられないかということです。

コンセプトとしては、武蔵野の情報収集と発信、そして開示ということです。

名称は「武蔵野ウェルカムビューロー」というのはどうでしょう。

そして運営は市からの委託で武蔵野観光推進機構（仮称）が行うということに私も賛成です。ただ費用は、例えば80%は市が出して、20%は商工会議所や商店街が出す。まあ、これは1つの例ですが、そういったことも必要ではないかと思います。

インフォメーション機能ですが、観光のことなどで何か知りたいと思った時、ここ（地域情報コーナー）に来れば全部分かるというまち案内所のキーステーションとなればいいと思います。

- ・委員長： はい、ありがとうございます。今の発言について何か質問はありますか？ まだ意見を述べていない3名の方どうでしょうか。
- ・委員： はい、私はまず地域情報コーナーの「地域」を取った方がいいと思います。地域とは何処を指すのか、全く意味のない言葉だと思います。武蔵野なら武蔵野、吉祥寺なら吉祥寺というようにはっきりさせて名称を考える必要があると思います。

それと、このスペースの中で、観光と情報を全部出すことができるのか、観光は観光で別のスペースですべきではないか、情報と観光というものを2つとも入れるべきではない、と思います。運営方法については、市と民間がやるべきだと思います。例えばムーブス方式などがいいのではないかと思います。今までまちの情報が市の担当毎にバラバラで、まち案内所ができて多少マシになったけれども、外に対する発信などはまるっきりできていません。後は、限られた範囲内でどこまでできるかというところだと思います。

- ・委員長： はい、ありがとうございました。今の発言に関して何かご質問はありますか？すみませんが、今の発言によると、あのスペースで観光と情報の2つの機能を持たせるには厳しいのではないかと、ゆくゆくは観光の方は他の場所を探して情報発信に特化したスペースにしていくというイメージでしょうか？
- ・委員： ええ、つまり情報が先にないと、観光だけ先にあっても、情報として提供できない。観光を生み出すスペースとしては狭すぎるということです。
- ・委員長： すみません。質問を外れて意見になってしまうのですが、観光といっても中心は地域の情報なので、それをどうやって提供していくか、まち案内に活かしていくかだと思います。そうすると、観光と情報は全く別のものではなく、かなり重なり合ったものではないかという印象があります。
- ・委員： 多分、観光と情報は一緒にはならないと思います。長い歴史的な見地から見ても一緒にならないと思います。観光もあるけど情報もあるというものならあるかも知れません。
- ・委員長：他に何かありますか？よろしいでしょうか。それでは次の方お願いします。
- ・委員：部分的なことだけ申し上げますと、私は、あのスペースでコミュニティ的な、人と人のつながりを大事にしようということで、ここ（地域情報コーナー）に来たら何が得られるのだろうかということです。人は自分の価値観、楽しみ、喜びを共有することによってコミュニティの輪が大きくなっていくものだと思います。そういった意味で前回も話に出ましたが、子育て支援について、例えば、ちょっと買い物へ行く時に子供を預ってくれるスペースにするなどの方策が考えられると思います。もし、人と人とのつながりを大切にするのであれば、共有し合う関係をつくっていく中で、横につながり、丸くつながり、立体的なつながりが形成されていけばいいのではないかと思います。

愛称なのですが、「ポータル」という言葉を使ってみたかったのですが、「物事の発端・始め、または門、広い入口」という意味があるそうなので

「武蔵野ポータル」「ポータルM(エム)」「マイポータル」などというのはどうでしょうか。

- ・委員長： ありがとうございます。今の発言について、何かご質問はありますか？では次の方をお願いします。
- ・委員： はい、まず前に申し上げたとおりなのですが、「情報」というものが武蔵野市全体を考えなくてはいけないのか、吉祥寺という限られた地域なのか、ということです。吉祥寺という限られた地域であればある程度可能だと思います。それと、情報を集める前に、人を集めた方が早いのではないかと思います。時間をかけて、全部集めてから「さあ、使ってくれ」というのはどうかと思います。それには、この施設のつくりが道路に面していない、入ってからまた入るといふ商人としてはどうかと思う造りです。私は情報を集める前に、まず人を集める方法を考えるべきだと思います。
- ・委員長： ありがとうございます。確かにあの通り沿いに入口があるだけで、大分入りやすくなりますね。今の発言に対して、何かご質問はありますか？
- ・委員： 質問ではないのですが、「情報」について吉祥寺だけなのか、それとも市全体なのか、市としてはどうなのですか？
- ・事務局： これについては、境も三鷹もありますので、立場上吉祥寺だけとは言えませんが、重点がどこに置かれるかということでしょう。
- ・委員長： それこそムーブスと一緒に、コンセプトがはっきりしていれば、最初は吉祥寺のみでも、次に境につくっていくという具合に増やしていくことは可能だと思います。まちの情報を提供する際に、エリアが狭いほどより充実した情報を提供できることは間違いないと思います。出発点としては吉祥寺にあるところで全体をカバーすることになりますが、将来的には枝分かれしていくことは十分考えられると思います。そのためには、場所のコンセプトをはっきりさせる必要があると思います。

ありがとうございます。以上で各委員からの意見を全ていただきましたので、残った時間で、今まで出た意見について各委員から、さらに意見を出していただければと思いますが、いかがでしょうか。
- ・委員： 1つよろしいでしょうか。委員長の意見の中で「地域情報コーナーの運営にあたる武蔵野観光推進機構（仮称）の自主的判断（いわゆる営利事業の展開も含む）を最大限尊重する」とありますが、これはどういうことなのでしょう。
- ・委員長： これは営利といっても収益を出すということではなくて、お金を取って何かをするということです。
- ・委員： つまり、補助金とか市の予算で全部するのではなくて、自主事業ということでしょうか。利益を追求する訳ではないということですね。



- ・委員長：　そういうことですね。
- ・委員：　例えば、コミセンの予算では、運営上利益があった場合、その報告はしています。利益は、売上がいくら、仕入れがいくら、というように付けて予算上マイナスで計上しています。そして、売上分は他の活動に活かしています。
- ・委員長：　基本的な質問ですが、いただいた補助金は、余った場合返還するのですか？
- ・委員：　余りは繰越金となります。
- ・委員：　お金の話が出たので聞きたいのですが、現在のハード面は別としたソフト面での年間の管理費はどれくらいなのですか？
- ・事務局：　人件費が 9,820,000 円です。
- ・委員：　今の地域情報コーナーでは自主事業はできるのですか？
- ・委員長：　かつて運営委員会方式の時はまさにその自主事業を展開することが期待されていたのですが、できないままに終わってしまったということです。
- ・委員：　どこの都市も観光に関しては行政からの補助金はありませんね。ただ、それだと、全然動きませんね。ですからできたら市はあそこ（地域情報コーナー）に補助金というか運営費を出していただかないとやっていけないと思います。
- ・委員長：　色々な地域情報で、うまくやればそれこそ広告収入とか吉祥寺ポータル観光サイトをつくって、そこに色々なところに広告を出してもらって、ある程度の収入を出すということは考えられると思います。いきなり黒字は無理にしても。
- ・委員：　そうですね。1階の運営だけで利益を出すのは無理ですけど、武蔵野観光推進機構（仮称）の全体の事業としてやれば、運営費くらいは賄えるようにしないと。
- ・委員：　とにかく、組織ができれば色々なことが考えられると思います。
- ・副委員長：　委員長の話の中に愛称を公募でという話がありましたが、FFビルのリニューアルの時、伊勢丹3階の雑木林の名称を公募で、10万円相当の賞金でホームページに載せましたら、北海道から九州まできました。また、それがPRにもなりました。ですから公募もいいと思います。
- ・委員長：　今の話を聞いていて思ったのは、1つは子連れに対する情報を前面に打ち出すということです。そうすると子連れの方々は行ってみようかなという気になりますので、人を集める方法の1つではないかと思います。もう1つは海外旅行客ですね。吉祥寺はどうなのでしょう。
- ・委員：　そうですね。吉祥寺は多くなってきていますよ。
- ・委員長：　そうすると、なおさら「英語等を話せる人が確実にいますよ」とか言え

ば（海外から）人を呼べるでしょうし、こういう情報が旅行者の間で広まれば、吉祥寺はそういうことが充実しているということでプラスになるのではないかと思います。まあ、子連れに対する情報、または「海外から来た場合でも安心ですよ」とか、これらを前面に押し出すのはいいと思います。吉祥寺は、来街者の方々も情報を得られるし、市民の方々も武蔵野市について新しい情報を発見できるし、子連れの方が行っても、海外旅行者が来ても大丈夫、というように少し欲張りですが、ここまで全部できるかどうかは別にして、こういう方向でいったらどうかということです。

それではコーナーの使い方としては、都市観光の拠点という考え方がベースにあって、加えてイベントステージ機能を追加するという考えと、観光と情報を切り離すという考えもある、ということですね。

あともう1つ伺いたいののですが、委員の多くが運営主体の有力候補として武蔵野観光推進機構（仮称）を挙げていますが、仮にこの組織の任せようということが決定した場合、この委員会でそれ以降話し合うことがあるのか、ということです。

- ・委員： 市はどう考えているのですか？
- ・事務局： 武蔵野観光推進機構（仮称）については、計画発表後観光フォーラム的な発起人会を立ち上げる予定です。そこで、関係者を集めて、今後どうやって進めていくべきか、どういった組織にするのか、収益事業を含むコストの在り方をどうするかなどを話し合います。ただ、こういった第3セクターに関して、議会はランニングコストを補助金で補填することには批判的です。ですから、何らかのかたちで、ランニングコストを補助金に入れないようなイニシャルをつくるべきだと思います。まあ、この武蔵野観光推進機構（仮称）については、まだ、海のものとも山のものとも言えないような状況です。
- ・委員： 時間的には来年4月から1年間くらいでフォーラムのようなものをして、次の年くらいに立ち上がるといった感じですか？
- ・事務局： そうですね。この場所（地域情報コーナー）を使ってもいいということでなれば、通常のペースでいけば、来年6月くらいまでに組織を固めて、夏に概算要求を出して、平成21年度の4月から工事を始める、といった感じですね。組織は立ち上げて、場所がきちっと確保できるまで、できることは始めたいと思います。
- ・委員： 逆に1階（地域情報コーナー）については、来年4月からのお話なのですか？
- ・事務局： できればの話ですが、固く決めている訳でもないもので、進行の度合いによると思います。また、ここ（地域情報コーナー）は行政財産という縛り

がありますので、まず自由な意見を言っていただいて、今後どうするかなのですが、ただ、運営について例えば武蔵野観光推進機構（仮称）の事務所機能にしてしまうと、行政財産として広く市民一般の方々に対してではなくなってしまいますので、その辺はどこまでやるのかということになります。ただ、言えることは市役所が色々やると、あまり面白いものはできないということです。この場で自由なご意見をいただいているので、一旦整理して理事者と相談してどこまで踏み込むのか検討させていただきたいと思います。

- ・副委員長： これは武蔵野観光推進機構（仮称）ができてからの話ですが、このスペースを行政財産から普通財産にする、もしくは武蔵野観光推進機構（仮称）に無償で譲渡してしまう、ということが考えられると思います。
- ・事務局： そうですね。ただ、そこまで踏み込む価値があるかということもあります。
- ・委員： しかし、行政がやるとなると大体おんぶに抱っこにしておもうという考えが多いと思います。ここ（地域情報コーナー）をどう使うかも大事ですが、市民にどう使ってもらえるかが重要だと思います。
- ・委員長： 私が思うのは、武蔵野観光推進機構（仮称）が1人歩きしていますが、これはまだ在り方がはっきり決まっている訳ではないので、それに丸投げするような提言はできません。ですから、こういう性格の団体を運営主体として想定すべきだと書き込んでいく必要があると思います。
- ・委員： そのためにもコンセプトをはっきりさせる必要があると思います。
- ・委員長： そのコンセプトですが、都市観光の拠点という漠然としたイメージと、情報発信の基地という性格と、芸術文化・イベント機能という性格などの意見が主に出ていますので、今日、委員の皆さんから意見を伺って、ある程度のコンセンサスを形成しておきたいのですが、どうでしょうか。
- ・委員： 今出た文化・観光・情報を1つにまとめられないか。
- ・副委員長： 私は都市観光にこだわってもいいと思います。
- ・委員： 私は、あまり大きくないスペースなので、できるだけ絞った方がいいと思います。都市観光は、個人型もありますが地域に住んでいる人達との交流もあります。そのために重要なのが情報発信であり、また、都市観光は文化も含まれますので、数を並べるよりは1つに絞って出した方がより明確に出るのではないかと思います。
- ・委員： いわゆる紙媒体を並べるスペースとなると、あれだけのスペースは要らないと思います。私は、あのスペースでどう情報発信するのか、ちょっと具体的に思い浮かばなかったのですが、あの場所で映像等を流し続けても誰も見ませんし、現在発信方法は殆どインターネットになっています。で

すから、あそこ（地域情報コーナー）でインターネットで（情報を）収集して、（情報媒体を）つくって発信する機能は必要だと思います。

- ・委員： 今武蔵野では、何か聞きたい時あそこに行けば何でも分かるという場所が必要だと思います。ただそれは吉祥寺も三鷹も境も必要だと思いますので、取り敢えず吉祥寺につくるということでしょうかということです。
- ・委員： 私はカフェ機能のような人が集まる場所が必要ではないかと思います。実はダラダラと人が集まる場所こそが情報収集・発信には大事なのです。私のイメージでは作業場のようなイメージがあり、あの場所（地域情報コーナー）だけで発信するというよりも、あの場所（地域情報コーナー）で打合せなどしながらウェブ等に載せる情報もつくって、色々な団体の人達が互いに話をしながら情報交換するといったイメージがあります。
- ・委員： まち案内所が三鷹と境にできれば、1つのベースとして、そこ（地域情報コーナー）に行けば詳しく分かるというようなものはどうでしょう。
- ・委員： サンロードの入口にも（まち案内所が）ありますが、如何せん狭くて、パンフレット等ももっと置きたいと思っています。
- ・委員長： 人は居た方がいいですね？
- ・委員： そうですね。そう思います。
- ・委員長： 目標ははっきりしている人はウェブサイトから得られるのですが、そうではなくて、漠然とはっきりしないまま来た人が、何となく「こういう所はありませんか？」と聞いた時、データベースから検索して出してくれるような人が居た方がいいと思います。
- ・委員： そうですね。人間が居た方がお客様は喜ぶますよ。
- ・委員長： それでは大きなコンセプトですが、都市観光の意味としては、住民と来街者が共に楽しめるような情報の基地として位置付けるということが、1つのコンセプトになると思います。そして、それをベースに、子連れ、国内・外からの来街者に対しても提供できるような、より特化した情報を求めている人達にも情報を提供していくという公共的な場所であるということコンセプトとして打ち出してはどうかと思います。どうでしょうか。今私が述べたことをコンセプトの大枠としてよろしいでしょうか。

では今日の話し合いで、皆さんの意見をすり合わせつつ、大きなコンセプトは出揃ったかと思いますので、次回に向けて私と事務局の方で文章化させていただいて、次回はそれを基に練るべきところ練ってつくり込んでいく作業するという事によろしいでしょうか。では、今日はこれで議論は終了いたします。

### 3 その他

委員長： 次回は9月21日（金）午後6時からといたします。本日はこれで終了といた

します。ありがとうございました。